



## どんなときも楽しく快適な 45分間を考えながら操船

—ファンタジー号はどんな船ですか。

ほとんどのスタッフが女性で、細やかなサービスを提供できるよう心掛けています。業界的に女性船員が少ない中、生き生きと活躍する先輩

女性たちの姿を見て入社を決めました。  
—仕事で大変なことは。

神戸港は他にもいろいろな船が運航しており、プレジャーボートや水上バイクに遭遇することもあるので、乗船中は気が抜けません。毎回、無事に着岸するたびにほっとします。また、台風が来たときには安全な場所に船を移動させ、通過するまで船内で待機しなくてはいけません。揺れる船の中で夜を明かし、翌朝そのままクルーズに出るときはさすがに疲れますね。

—操船で心掛けていることは。

船酔いの不安がある方もあるべく快適に過ごしていただけるよう、できるだけ揺れないよう注意して操船しています。1周のクルーズはわずか約45分間。悪天候の場合はコースを変えたり、大型客船が停泊しているときは近くに寄つたりと、できるだけ臨機応変に、お客様が楽しめるように考えています。神戸在住の方でも海上から神戸の街を見たことがないという人が意外といらっしゃる

ので、ぜひ一度乗っていただきたいです。空気の澄んだ冬の景色やネオンがともる夜の街並みもきれいですよ。

—今後の目標は。

県内外の小学生が乗ることも多く、子どもたちに船員の仕事の魅力が伝わればいいなと思いながら操船しています。今後さらにキャリアを積んで、どんな事態にも柔軟に対応できる船長を目指したいです。



〈Profile〉

1993(平成5)年大分県出身。国立波方海上技術短期大学校を卒業後、2015年早駒運輸株式会社に入社。2017年からファンタジー号の船長を務める。